



2026年1月1日

発行責任者 根岸 大智

編集責任者 情 宣 部

～ 自他共栄～ NO.号外

闘春

昨一年、職場から最先頭で青年部運動を担って頂き誠にありがとうございました。

昨年は大きな地震などの自然災害や異常時対応など一年間を通して、安全を維持し、安定輸送を支えてきた年でした。

また、青年部は年末手当獲得闘争では全国19機関でレクリエーションや集会・歓迎会等を開催し、大いにJR貨物労組運動を盛り上げて頂きました。

中央常任委員会は、『無関心層を取り込むための青年部運動を展開し、『明るく・楽しく・元氣よく』をモットーに活動して頂きました。

私たちの生活は物価上昇で大変ひっ迫しています。26春闘では大幅な賃上げは必須です。ベア・諸要求をかち取り総団結で会社に立ち向かい、組合運動の見える化で組織強化し、全青年部員で最後まで闘いを推し進めていきましよう！



日本貨物鉄道労働組合青年部
中央常任委員会